

クローザ類／③フロアヒンジ

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版16章8節に規定する建具用金物のうちのフロアヒンジとする。

2. 品質・性能等

- (1) 品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- (2) 主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- (3) 性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

3. 名簿の「詳細事項」に関する注意事項

- (1) 材料の閉じ力による区分、取り付け方法及びストップ装置の有無による区分の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。
- (2) 「取り付け方法及びストップ装置の有無による区分」は、該当する製品名を示してしている。

クローザ類／③フロアヒンジ

評価内容 (別紙)

項目		品質・性能		備考			
材 料	見え掛り部の材質	カバー部	ステンレス製				
		本体	鋼製				
性 能	初 期 値	閉じ力および効率による区分	Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	
			Grade1	1	9 以上	45 以上	
				2	13 以上	50 以上	
				3	18 以上	55 以上	
				4	26 以上	60 以上	
				5	37 以上		
				6	54 以上	65 以上	
			Grade2	1	5 以上	30 以上	
				2	10 以上		
				3	15 以上	35 以上	
				4	25 以上	40 以上	
				5	35 以上	45 以上	
	6	45 以上					
	閉 じ 速 度 (秒)	常温 (5~35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5~8 秒に調整できること。					
温 度 依 存 性 (緩衝油の流動点)	(℃)	-15 以下					
ス ト ッ プ 力	(N・m)	入 力 : 100 以下 解除力 : 10 以上					
戸 の 閉 鎖 位 置	(mm)	± 3 以内					
耐 久 性	繰返し開閉後の 閉じモーメント	(N・m)	耐久試験後も、初期値の性能を満足すること。				
	繰返し開閉後の 効 率	(%)	同 上				
	繰返し開閉後の 閉 じ 速 度	(秒)	同 上				
	繰返し開閉後の 戸 の 閉 鎖 位 置	(mm)	± 6 以内				
外 観 お よ び 機 能	製 品 お よ び 付 属 品 の 形 状	全体の形状が正しく、傷がなく、機能および耐久性を減ずるような欠陥がないこと。					
	機 能	ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができること。					
	ス ト ッ プ 装 置 の 機 能	ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられること、また外せるものとする。					
	取 付 け 部 品	必要な取付け部品が付属していること。					

クローザ類／③フロアヒンジ

項 目	品 質 ・ 性 能	備 考
試験方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験の条件等は、JIS A 1510-3 の「5. 試験の一般条件」、「6.1 試験の概要」および「6.2 試験装置」による。 2. 閉じ速度試験およびストップ力試験は、JIS A 1510-3 の「6.3. 1フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。 3. 温度依存性（流動点試験）は、JIS K 2269 による。 4. 繰返し開閉試験は、JIS A 1510-3 の「6.3. 1フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。なお、繰返し開閉回数は、Grade1 は 50 万回とし、Grade2 は 30 万回とする。 5. 試験体は、中心吊り込み（両自由）の汎用品とし、当協会と協議のうえ選定する。 6. 試験ドアの質量は、1 番手は 25kg、2 番手は 40kg、3 番手は 60kg、4 番手は 80kg、5 番手は 100kg、6 番手は 120kg とする。 	